

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

大森・選択専攻科目

臨床生理機能検査部（4週以上）

1 研修プログラムの目的と特徴

内科疾患の中で循環器疾患は多く、診断法に種々の検査が用いられている。非侵襲的検査法は、簡便、繰り返し検査可能などの利点から繁用されている。本研修プログラムは日常診療に繁用されている心電図、心臓超音波やホルター心電図、運動負荷心電図などをより深く学び、実践で使えるようにすることを目的とする。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部の運営会議でプログラムの管理運営をおこなう。

3 教育プログラム

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は4週以上とする。

東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部に配置される。

3-2 一般目標（GIO）

生理機能検査の基本的な知識と技能を習得する。

患者に対する接遇マナーを習得する。

患者の権利や個人情報保護（検体取り違え防止を含む）の重要性を理解する。

多職種と協調してチーム医療を実践する。

3-3-1 行動目標（SBOs）

循環器疾患の主要な非侵襲的検査法を修得する。

3-3-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- ① 問診で主要な心疾患の鑑別診断を挙げることが出来る。
- ② 聴診で主要な弁膜疾患の判別を行うことが出来る。
- ③ 心エコー検査を行い、画像の描出と所見を記載することが出来る。
- ④ ホルター心電図の主要所見を判読できる。
- ⑤ 運動負荷心電図を記録し、判読できる。
- ⑥ 頸動脈超音波を記録できる。

3-3-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- ① 失神
- ② 胸痛
- ③ 動悸
- ④ 心不全(急性、慢性)
- ⑤ 狭心症・心筋梗塞
- ⑥ 弁膜症
- ⑦ 心筋・心膜疾患
- ⑧ 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)
- ⑨ 動脈疾患(動脈硬化症、閉塞性動脈硬化症)
- ⑩ 高血圧症(本態性、二次性高血圧症)

・臨床研修ガイドラインにおいて挙げられた、「経験すべき症候(29症候)」および「経験すべき疾病・病態(26疾病・病態)」についても各研修分野で該当するものを外来診療または受け持ち入院患者(合併症含む)で自ら経験する。「経験すべき症候(29症候)」および「経験すべき疾病・病態(26疾病・病態)」の詳細については別紙参照のこと。

・上記症候、疾病・病態を経験したことの確認については各研修分野の臨床研修指導医による病歴要約の確認、および卒後臨床研修/生涯教育センターにおいて全研修医の病歴要約の確認をもって行う。

3-3-2-C 特定医療現場の経験

救命センターなどでの検査に立ち会うことが出来る。

3-4-1 学習方略(LS)

循環器疾患検討会は大森病院循環器内科にて週1回行われ、任意で参加可能である。
検査部内勉強会が月に1回行われる。

3-4-2 週間スケジュール

研修期間中の勤務時間、休暇に関しては東邦大学医療センター大森病院の規程に従うが、勤務時間は原則的に午前9時から午後5時である。

3-5 評価(EV)

循環器疾患の基本的な検査技術が習得できたかを、検査技師主任、副技師長、部長が評価する。
プログラム修了時に、検査部主任、副技師長の意見を参考に、循環器疾患の基本的な検査技術と判断能力が備わったかを部長が総合評価する。

3-6-1 指導体制

本プログラムは東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部において通常業務を通じて技術を習得するもので、検査技師(主任、副技師長)と検査部部長1名がほぼ1対1で研修を行う。

3-6-2 臨床研修指導医

添付資料『臨床研修指導医』該当診療科の臨床研修指導医、及び指導医責任者を参照のこと。

3-6-3 協力施設

※ 詳細は臨床研修病院群〔プログラム冊子添付資料〕参照